

スケジュール表

		2021年12月																							
		2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)						
1	京都国立近代美術館	身体感覚で楽しむプログラム 「竹村京 Floating on the River」		展示		ワークショップ		~2022年1月16日																	
2	京都市京セラ美術館	トーク映像展示「実はよく知らないんだよ。 だから聞いてみようと思う。(中原)」																							
3	京都市美術館別館	2021年度 共生の芸術祭「旅にでること、その準備」																							
4	ロームシアター京都	ドキュメンタリー映像上映&トーク ダンサーによるワークショップ																							
5	京都市動物園	Ontennaで感じる、 動物たちのこえ・いろ・かたち 2021		展示		ワークショップ		11月30日~																	
6	京都府立図書館	おどろきの「群書類従!!」																							
7	京都市勤業館みやこめっせ	第27回京都とおきの芸術祭																							
8	kokoka京都市国際交流会館	障害者スポーツ関連展示 ~京都からパリ2024パラリンピックへとつながる~																							
9	京都文化博物館	アニメ映画を一緒に楽しもうーユニバーサル上映																							
10	京都芸術センター	ワークショップシリーズ「ひろがる世界」																							
1, 2, 7		ミュージアムショップめぐり																							
府域展開事業 CONNECT-EXPAND		山城会場(宇治市)		南丹会場(亀岡市)				中丹会場(綾部市)				丹後会場(宮津市)													

マップ

- 会場**

 - 1 京都国立近代美術館
 - 2 京都市京セラ美術館
 - 3 京都市美術館別館
 - 4 ロームシアター京都
 - 5 京都市動物園
 - 6 京都府立図書館
 - 7 京都市勤業館みやこめっせ
 - 8 kokoka京都市国際交流会館
 - 9 京都文化博物館
 - 10 京都芸術センター

バス停

 - A 岡崎公園
 - B 岡崎公園 美術館・平安神宮前
 - C 岡崎公園 動物園前
 - D 東山二条・岡崎公園口
 - ★ 多目的トイレ



障害者週間から始まる、アートを通して
共生・多様性について考える18日間

CONNECT ⇄

京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、
京都市動物園、京都府立図書館、
ロームシアター京都、京都市勤業館みやこめっせ、
kokoka京都市国際交流会館、
京都文化博物館、京都芸術センター ほか

ひ つ つ
ろ づ な
が く が
る る

参加
無料
FREE

2021 12.2 THU — 19 SUN

お問い合わせ CONNECT ⇄ 事務局
〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞COM開発推進部内
TEL: 075-255-9757 FAX: 075-255-9763 (受付時間: 平日10:00~17:00)
MAIL: connect-art@mb.kyoto-np.co.jp

プログラムの詳細・ワークショップへの申し込みは、公式ウェブサイト (<https://connect-art.jp/>) またはCONNECT ⇄ 事務局 (075-255-9757) へお問い合わせください。

公式ウェブサイト



CONNECT^{コネクト}_{つな}は、アートを通して多様性や共生社会について共に語り合い、考え、実践するプロジェクト。

障害のある方の芸術活動の支援、鑑賞機会の拡充、さらには障害の有無にかかわらず

誰もが芸術文化に気軽にかかわり、相互理解を深めることを目的に、2020年から始まりました。

2021年度のCONNECT_{つな}の合言葉は“つながる、つづく、ひろがる”。

岡崎地域だけでなく京都市域、京都府域、そしてオンラインでも取り組みを展開します。

芸術文化を通して、さまざまな人と人、人と文化が「CONNECTする(つながる)」ことの

可能性や意義について、この機会にみんなで一緒に考えてみませんか。

2021年12月2日(木)より、公式ウェブサイトにて公開

CONNECT_{つな} スペシャル鼎談 オンライン

「つながる・つづく・ひろがる

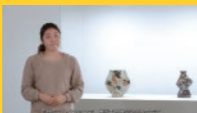
—生まれかわる美術館、大学、劇場から考える文化と共生—

CONNECT_{つな}では、美術館や劇場などの文化施設やアートの最前線で活躍する方をお招きし、文化芸術を通じた共生社会の実現について共に考えるきっかけとなるようなトークプログラムを行っています。今年度は“生まれかわる美術館、大学、劇場から考える文化と共生”をテーマに、美術作家で舞台演出家のやなぎみわさん、京都市立芸術大学学長で画家の赤松玉女さん、京都市京セラ美術館長で建築家の青木淳さんによる鼎談を収録。字幕付きの動画を公式ウェブサイトにて公開します。

知る人ぞ知る！ 京都岡崎公園の魅力

手話と文字を使って、スタッフとめぐる案内動画 オンライン

岡崎公園内の文化施設の見どころや歴史について、手話・字幕を交えた案内動画を制作しています。昨年公開した京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館に加え、今年は新たにロームシアター京都、京都市動物園を紹介します。おでかけ前にチェック！



2020年度の鼎談も公式ウェブサイトでご覧いただけます！

2020年度は、“共生”の時代における文化施設のあり方について”と題して哲学者の鷲田清一さん、青木淳さん、進行役の柳原正樹さん(前・京都国立近代美術館長)に、それぞれの立場やご経験を踏まえてお話しいただきました。

身体感覚で楽しむプログラム

「竹村京 Floating on the River」 展示 ワークショップ

京都国立近代美術館 | 1階 ロビー

展示：12月2日(木)～2022年1月16日(日) 9:30～17:00

(金曜・土曜は20:00まで、月曜休館)

ワークショップ：12月11日(土) ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 要事前申込

写真やドローイングの上に刺繍を施した布を重ねたインスタレーションや、壊れた日用品を布で包んで刺繍する「修復シリーズ」を発表するアーティスト、竹村京による展示とワークショップを行います。作品にふれることで、縫い留められた誰かの大切なものの記憶に思いをめぐらす機会となるでしょう。



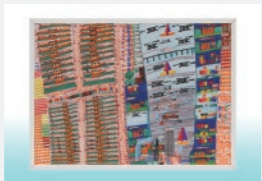
竹村京(修復された地球儀の貯金箱)2000年—現在、作家蔵

第27回京都とっておきの芸術祭 展示

京都市勤業館みやこめっせ | 地下1階 日図デザイン博物館

12月2日(木)～5日(日) 10:00～17:00

障害の有無に関わらない交流の場として、京都市民の皆様には1995年度から親しまれてきた公募展。「絵画」「陶芸」「写真」「書」「俳句」「川柳」「諸工芸」の7部門に出品された府内在住の障害のある方の作品は700点以上。その全てを会場で展示します。それぞれの個性と才能が光る作品を、ぜひご覧ください。



令和2年度 絵画の部 京都府知事賞「びわ湖」AKIO

主催：京都障害者芸術祭実行委員会

トーク映像展示「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」 展示

京都市京セラ美術館 | 1階 光の広間

12月3日(金)～9日(木) 10:00～18:00 (月曜休館)

自らも「つくること」や「表現すること」に携わってきた美術家・中原浩大が、精神や発達に障害のある人の創作や表現行為の歴史、背景、現在地について、“よく知りたい・少しでも理解を深めたい人”のひとりとして聞き手となり、ゲストとともに考えるトークシリーズ。その記録を、展示公開します。

たずねられる人：上尾真道、松本卓也、ほか
協力：Social Work / Art Conference (一般社団法人HAPS)



たずねる人：中原浩大 撮影：福永一夫

2021年度 共生の芸術祭「旅にできること、その準備」 展示

京都市美術館別館 | 1階 第1展示室

12月9日(木)～26日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで、月曜休館)

「障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり」を目指し、共生社会の実現に向け、文化芸術活動を推進するための芸術展を開催します。第8回目を迎える今年度の共生の芸術祭は「旅」をテーマに京都府内外の障害のある方の表現を幅広いジャンルで紹介します。

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構



松原 日光(軽飛行機)糸、布

おどろきの『群書類従』! 展示

京都府立図書館 | 2階 ナレッジベース

11月30日(火)～12月19日(日) 9:30～19:00 (土日は17:00まで、月曜休館)

江戸時代の盲人の学者、塙保己一(1746-1821)は、日本の歴史・文化を後世に残すため、666冊の叢書『群書類従』を40年かけて編纂・刊行しました。使用した版木17,224枚は塙保己一史料館(東京)に保存され、重要文化財指定を受けています。今回は現代につながる「共生」の視点から、そのおどろきの業績を見直します。同時開催で、現代美術家・宮永愛子による府立図書館の歴史によりその展示も実施します。



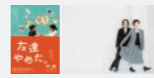
『群書類従』版木 ©大塚敬太+樋口俊太

ドキュメンタリー映像上映&トーク ダンサーによるワークショップ 上映・ワークショップ 要事前申込

ロームシアター京都 | 地下2階 ノースホール

12月4日(土)

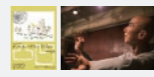
13:00～15:00 今村彩子監督作品「友達やめた。」 上映&トーク
15:15～16:15 セレノグラフィカ(ダンスデュオ)によるワークショップ



(右) Photo: Ai Hirano

12月5日(日)

13:00～15:30 坪田義史監督作品「だってしょうがないじゃない」 上映&トーク



(右) Photo: Hideto Maezawa

15:45～16:45 若下徹(即興ダンス)によるワークショップ

それぞれのアプローチで発達障害を扱ったドキュメンタリー映像2作品の上映とトークを行います。上映後には、ダンサーを講師にしたワークショップ(人数限定)も実施します。
※上映・トークのみの参加も可能です。ワークショップのみの参加はできません。

アニメ映画を一緒に楽しもう —ユニバーサル上映

上映 要事前申込

京都文化博物館 | 3階 フィルムシアター

12月4日(土) 13:30～/17:00～『どんぐりの家』

12月5日(日) 13:30～/17:00～『聲の形』

聴覚障害を持った少女の生を描いた『聲の形』(2016年/第20回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)と、聴覚障害の子どもを持つ家族の苦闘と希望を描いた『どんぐりの家』(1997年/第1回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)を、聴覚障害者と一緒に鑑賞できる日本語字幕付きのユニバーサル形式で上映します。



『聲の形』©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会

府域展開事業 CONNECT-EXPAND 展示

山城会場(宇治市) 12月1日(水)～6日(月)
中宇治BASE、中宇治yorin、大阪屋マーケット、宇治橋通集会所

南丹会場(亀岡市) 12月3日(金)～10日(金) サンガスタジアム by KYOCERA

中丹会場(綾部市) 12月10日(金)～15日(水) グンゼ博物館

丹後会場(宮津市) 12月14日(火)～19日(日)
宮津シーサイドマート ミッブル 浜町ギャラリー

※開場時間はすべて10:00～17:00

府内全域の多くの人たちに、多彩な表現を知っていただく機会となるよう、京都府在住あるいは活動拠点を府内に置く障害のある人たちの作品を、山城、南丹、中丹、丹後の4会場にて展示します。

主催：京都府

障害者スポーツ関連展示

～京都からパリ2024パラリンピックへとつながる～ 展示

kokoka 京都市国際交流会館 | 2階 姉妹都市コーナー・展示室

12月14日(火)～19日(日) 11:00～18:00 (初日は12:00から、最終日は16:00まで)

東京都のバラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」が製作した人気漫画家によるパネルや関連資料をはじめ、競技用具等の展示を通して障害者スポーツへの理解を深めるとともに、2024パラリンピック開催都市となる京都市の姉妹都市・パリ市での各国代表選手活躍と大会成功に向けた思いや期待をつなぎます。



©渡辺航

©村上もとか

Antennaで感じる、動物たちのこえ・いろ・かたち 2021

展示 ワークショップ

京都市動物園

ワークショップ：12月4日(土)、5日(日) 各日13:30～15:00 要事前申込

展示：11月30日(火)～12月19日(日) 9:30～16:30 (月曜休館)

動物の鳴き声を、Antenna(オンテナ)を使って振動と光で感じてみましょう。前半は、開発者の本多達也氏からオンテナについての解説、そして動物園長からは動物たちの生態についてお話しします。後半は、園長と一緒に園内ツアーで、動物の鳴き声をオンテナで感じます。オンテナの取り組みについてのパネル展示も実施します。



昨年度のAntennaを用いたワークショップの様子

ワークショップシリーズ「ひろがる世界」 ワークショップ 要事前申込

京都芸術センター

12月2日(木) 17:30～、3日(金) 17:30～、5日(日) 14:00～(各日3時間)

※3日間連続のワークショップです

「Chorós」

講師：ガブリエ・パロンタン

12月14日(火)、15日(水) 18:30～20:30

※2日間連続のワークショップです

「音でつくる映像」

講師：ジダーノフ・アリーナ

多くの制限があるこの時期だからこそ、自分の感覚を広げるような体験をしてみましょう。外国にルーツを持つアーティストを講師に、世界とわたしたちの間の多様な関係性を感じるワークショップを開催します。



上：ガブリエ・パロンタン イメージ写真
下：ジダーノフ・アリーナ 作品写真

●ミュージアムショップめぐり

CONNECT_{つな}の会期中、京都市京セラ美術館、京都国立近代美術館、京都市勤業館みやこめっせのミュージアムショップで、障害のある方が携わった製品・グッズを販売します。

上映会・ワークショップは事前申込制です。プログラムの詳細、申し込みは公式ウェブサイトから。またはCONNECT_{つな}事務局へお問い合わせください。

これは音声コード「Uni-voice」です。機器やスマホアプリで読み取ると、情報を音声で聞くことができます。

CONNECT_{つな} 公式ウェブサイト
connect-art.jp

